

こく めい こ 克明の子

学校通信

令和7年(2025年)7月2日
発行) 校長 吉川有美子

がっき 1学期のまとめのとき

思いがけず梅雨が明け、夏の空が広がるようになりました。水泳の学習も始まり、2年生のミニトマトが実をつけ、1年生の朝顔の花も咲き始めています。学習発表朝会を経験した学年もあり、宿泊行事があった学年もあります。先日始めました個人懇談では、短い時間ではありますが、お子さんの学校での頑張りを担任の先生からお聞きになられていることと存じます。お忙しい折、時間をとっていただきありがとうございます。おうちの中でもぜひ、お子さんの成長について触れ、励ましのことをかけていただければと思います。



中校舎(職員室がある校舎)の1階に「ぽかぽかの木」があります。今年度も、ぽかぽかの葉っぱが、風に揺れるガーラントのように付けられています。ぽかぽかの葉っぱには、計画委員会の子どもたちが全校に呼びかけ、全校の子どもたちが、ぽかぽかの学校にするための行動目標を書いています。いくつか紹介したいと思います。

「ともだちの話ちゃんと聞く」

「みんなで助け合う」

「元気にあいさつする」

「いじめがない学校にする」

「注意ではなく声かけをする」

「人に言われる前に自分で行動する」

みんなよく考えていると思います。教職員によるぽかぽかの葉っぱもあります。学校に来られた際には、ご覧になってください。



6年生修学旅行(6/26~6/27)の行ってきます集会。



ひろしまボランティアガイドさんと、碑巡りです。

きゃっぶすいしんじぎょう CAP推進事業

こ えんぼわめんとあんどちいき えんぼわめんと
~子どもたちをエンパワメント & 地域をエンパワメント~

子どもたちは、毎日いろんな感情(気持ち)を持ちます。子どもは困っているとき、どうしていいかわからないでいるとき、怖い思いをしたときなど、その気持ちを言葉にして伝えることが苦手であることが多いです。言葉以外のいろんなサインを示すこともあります。

CAPとはChild Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の頭文字をとったものです。子どもを対象にしたプログラム(子どもワークショップ)では、子どもたちにそれぞれ発達段階にふさわしい寸劇、歌、人形劇、討論などを盛り込んで、子どもを怖がらせることなく暴力防止の具体的な対処法を教えます。従来の「~してはいけません」式の危険防止教育と異なり、「~することができるよ」と身を守るための行動選択を練習します。安心、自信、自由の人権を子どもたちに繰り返し伝えることで、子どもたちが本来持っている「生きる力」を引き出すプログラムです。

2021年度と2022年度には、本校でも2年生と4年生、保護者さん、教職員に実施していました。今年度から、第五中学校区(克明小・箕輪小・第五中)として取り組むことになりました。

子どもが自分の気持ちや困っていることを「言ってもいいんだ」と思えるようになるためには、まわりの大人が、働きかけをする必要があります。そのために、子どもの心と言葉を聴く姿勢や方法を学ぶ必要があるわけです。おうちの方や教職員など、子どもを支える立場にある人が、子どもの人権を考え、エンパワメントの支援のあり方を学ぶことはとても大切です。(エンパワメントとは、その人が本来持っている力を信じ、肯定し、その力が十分に発揮できるように働きかけることです。)子どもの話をどのように聴いたらいいのか、大人ができる具体的なエンパワメントの方法を学びます。子どものモデルはまわりにいる大人です。大人も大変な時には気持ちを聴き合い、助けを求めましょう。大人も一緒に学んで、子どもの人権とエンパワメントを地域ぐるみで広めていきましょう。

克明小学校では、これから毎年2年生がCAPのワークショップを体験します。今年度は★月★日の予定です。その前日★月★日に保護者さん向けのワークショップを実施いたします。2年生の保護者さんは、ご予約ください。2年生以外の保護者の方も参加できますので近くなりましたらご案内いたします。私も昨年CAPの大人向けワークショップに参加しました。お子さんのため、克明校区の子どもたちのため、そしてご自身のために、一緒に学びませんか?

(参考資料:一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会ドコモ市民活動団体助成事業報告書、CAP読本、J-CAPTAホームページ)